

松島湾の海域環境復興への取り組み

～ 松島湾の環境学習会と生物調査を公開 ～

松島湾の環境は震災津波によって、海底の地形が変わったり、アマモ場が流出したりして大きく変化しました。アマモ場は様々な生きものたちの生育・生息の場、繁殖の場となっており、豊かな海を育むことから「海のゆりかご」と呼ばれています。松島の海を再生させるためには、アマモの状況や生き物の生息状況を把握して、再生を促進するための対策を検討すると共に、地域の方に見て・知って・学んでいただくことが大切です。

今回は小学生以上の親子を対象として、海に親しみ、海辺の楽しさや環境復興の大切さを体験していただくとともに、残存するアマモ場に生息する生物の調査を行うものです。

1. 「親子で学ぶ松島湾の海辺」の状況を公開します

- ◆日時：平成24年8月22日（水）8時00分～12時30分
- ◆場所：マリニピア松島水族館
- ◆主催：松島湾アマモ場再生会議
- ◆対象：宮城県内の親子 約50名
- ◆内容：松島湾の学習（水族館）、引き網体験及び海辺の生き物観察（どんぐり浜）
※詳細は別添のチラシを参照下さい。（申し込みは締切済）

2. 「松島湾現地調査（引き網調査）」の状況を公開します

- ◆日時：平成24年8月22日（水）13時45分集合
14時00分出航 16時頃帰港
- ◆場所：塩竈市桂島（松島船着場 ～ 桂島上陸 ～ 松島船着場）
- ◆主催：塩釜港湾・空港整備事務所
- ◆内容：桂島周辺のアマモ場で引き網を行い、生息する生物を調査します。
※桂島周辺は震災後も比較的多くアマモ場が残存し、現時点では松島湾内では最大規模となっています。

3. 取材申し込み

- ◆取材希望の方はE-mail又はFAX（別添様式）により、所属、氏名、連絡先を添えて、8月20日（月）15時迄に申し込み下さい。
- ◆2. の現地調査は、桂島まで小型船で移動しての取材となります。

【発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、塩竈記者クラブ】

【申し込み・問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所
企画調整課 長峰（ながみね）、所長 諸星（もろほし）
TEL 022（362）9512 FAX 022（361）3255
E-mail：info-shiogama@pa.thr.mlit.go.jp

親子で学ぶ松島湾の海辺

松島の海は、東日本大震災の津波で大きなダメージを受けました。でも、1年以上がたって海の環境は少しずつ良くなってきています。この夏休み、松島湾の海辺にどんな生きものたちがくらしているか、家族みんなで調べてみませんか？

日時：8月22日（水）雨天決行
集合：午前8：00
場所：マリンピア松島水族館
参加費：¥1,000-（子供無料）
保険・教材費・水族館入場料含む
ご参加は小学生以上となります



●スケジュール●

8:00 受付
8:30 水族館での学習
10:30 どんぐり浜にて生きもの調査
11:00 引き網体験&ゲーム
12:30 終了(予定)

●持ち物●

帽子・飲み物・水着・バスタオル
着替え・日焼け止め
ぬれてもよい靴(サンダルや裸足は不可)



◆お申し込み・お問い合わせ◆
松島湾アマモ場再生会議 事務局
電話 090-2845-6894 (鈴木)
FAX 022-362-2490
eメール ebisuya@c-marinet.ne.jp

主催 松島湾アマモ場再生会議
共催 一般財団法人みなと総合研究財団
後援 東北地方整備局雄登港湾・空港整備事務所 宮城県
協力 マリンピア松島水族館
独立行政法人水産総合研究センター東北区水産研究所

FAX 022-361-3255

東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所 企画調整課行き

件名 ; 松島湾の環境学習会と生物調査公開

日時 ; 平成24年8月22日(水)

午前の部:「親子で学ぶ松島湾の海辺」 8時00分～12時30分

午後の部:「松島湾現地調査(引き網)」13時45分集合、14時00分出航 ～ 16時00分帰港予定

天候等の都合により変更する場合があります。

変更があった場合は、取材申し込みされた方の連絡先に個別に連絡致します。

■8月20日(月)15時までに、取材するイベントに○を記載し、ご連絡下さい。

所属	氏名	午前	午後	連絡先(電話番号)	E-mail or FAX番号